



環境活動レポート 2024

CONTENTS

Top Message	1
基本方針/体制	2
環境経営の目標	3
事業活動における環境負荷	4
取組み	8

当社はLPガス事業・都市ガス事業を通じて、お客様の暮らしを支えてきました。これまで培ってきた保安の技術と、それを実践してきた人の力。これらが私たちの事業活動の原動力であり、この礎があるからこそ、新たな挑戦ができると考えています。

2021年度からは、太陽光発電所を取得し、再生可能エネルギー事業へ参入しました。発電した電力は自社での使用のみならず、お客様へ供給し、二酸化炭素排出量の削減に貢献することを目指しています。

また、当社の20周年事業の一環として植樹費用の寄付および植樹を行い、2023年度に「ガスパルの森」が誕生しました。地球由来のエネルギーを扱う企業であるからこそ、地球環境への恩返しとして水源を守り、持続可能な社会へつなげていきたいと考えております。

これからも、お客様、地域の皆さま、取引先様、そして従業員と誠実に向き合い、より一層社会に貢献できるよう邁進してまいります。

2024年11月29日

株式会社 ガスパル

代表取締役社長 橋本 俊昭

■経営理念

先保
G P S E N P O K O R I
後利

先保後利。
全従業員の働きがい追求し、保安を極め、
豊かな社会の実現に貢献する。

「お客様のために先ず保安があり、最上級の保安とサービスをご提供することで、利益は後からついてくる」という想いを込めた言葉です。
保安最優先を貫くガスパルグループの象徴として経営理念に決めました。



■ 環境基本方針・環境行動指針

環境基本方針	私たちは全ての事業活動において、省資源、再利用、再資源（3R）に努め、地球環境の保全に積極的に取り組みます。 また、社会インフラの一役を担う企業として、地域社会や自然との調和を重視し、安心・安全な住環境を提案し続けます。
環境行動指針	1. 法規制：環境に関連する法規を遵守し、事業活動を行っていきます。 2. 教育：啓蒙活動を継続して、全社員が環境に優しい活動を率先して取組んでいきます。 3. 省資源：省資源化に取り組み、環境負荷の低減に努めます。 4. 再利用：資源の再利用可に取り組み、環境負荷の低減に努めます。 5. 再資源：資源のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。 6. 創造：人に優しい住環境を提案し、より環境負荷の低減につながるサービスを提供します。

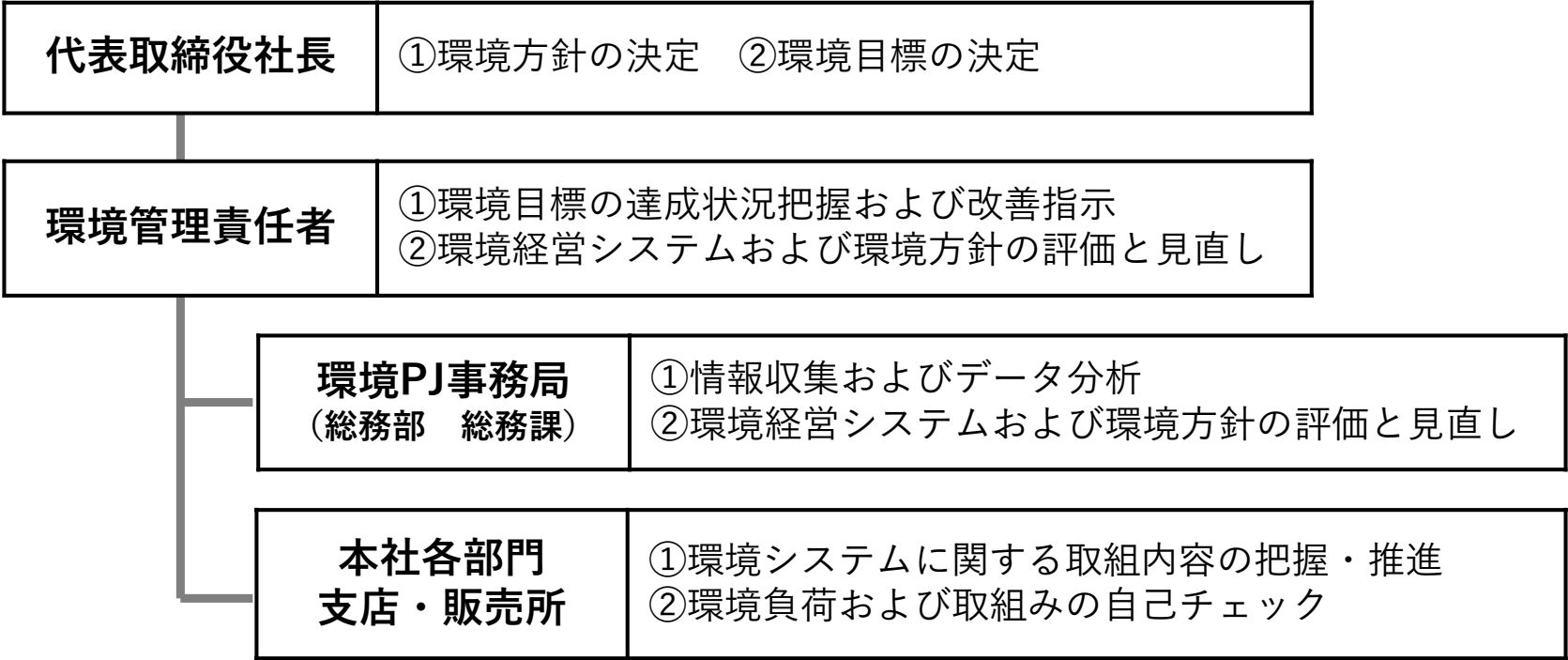
■ 環境マネジメント

2009年度からエコアクション21の考え方を採り入れ、環境経営の構築を開始しました。

毎年、具体的な管理目標を項目ごとに定め、全社に活動を展開しています。

また、各支店・販売所での環境負荷測定および定例報告、教育・啓発活動を実施しています。

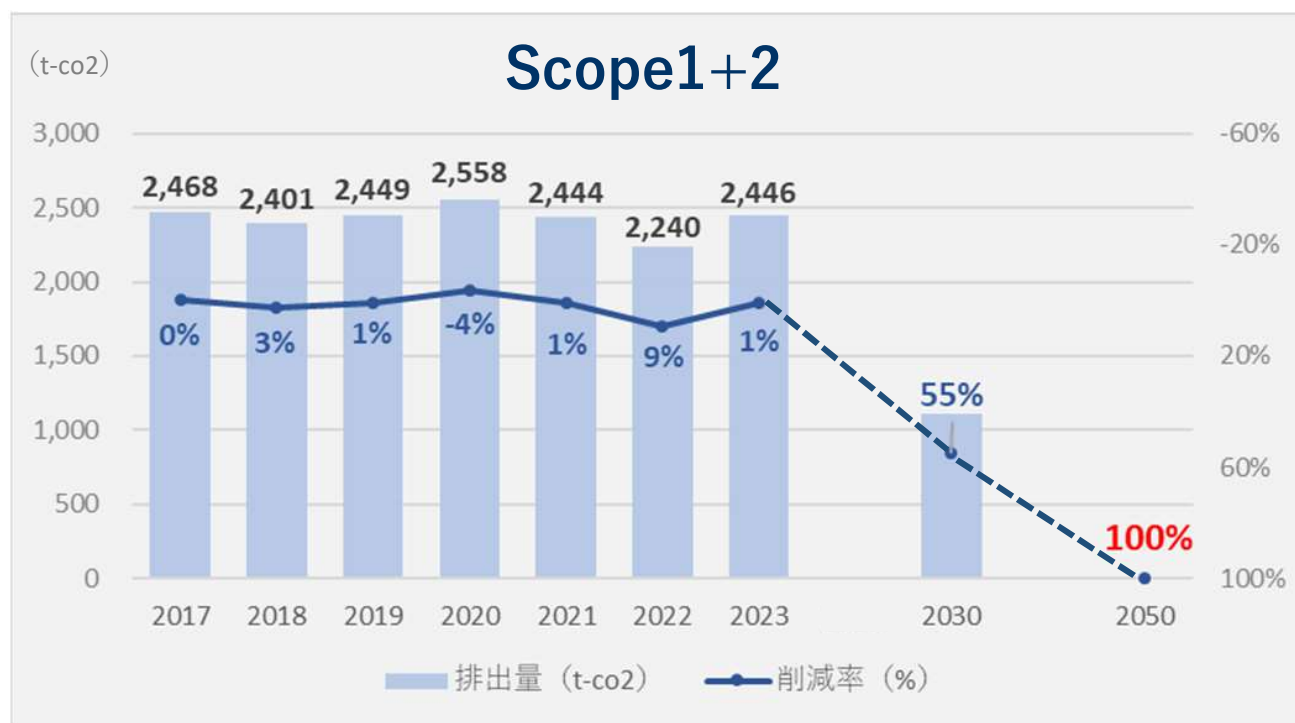
<環境マネジメント体制図>



環境経営の目標（大東建託グループ・マテリアリティKPI）

■ 温室効果ガス排出量の削減【Scope1+2、Scope3（*）】

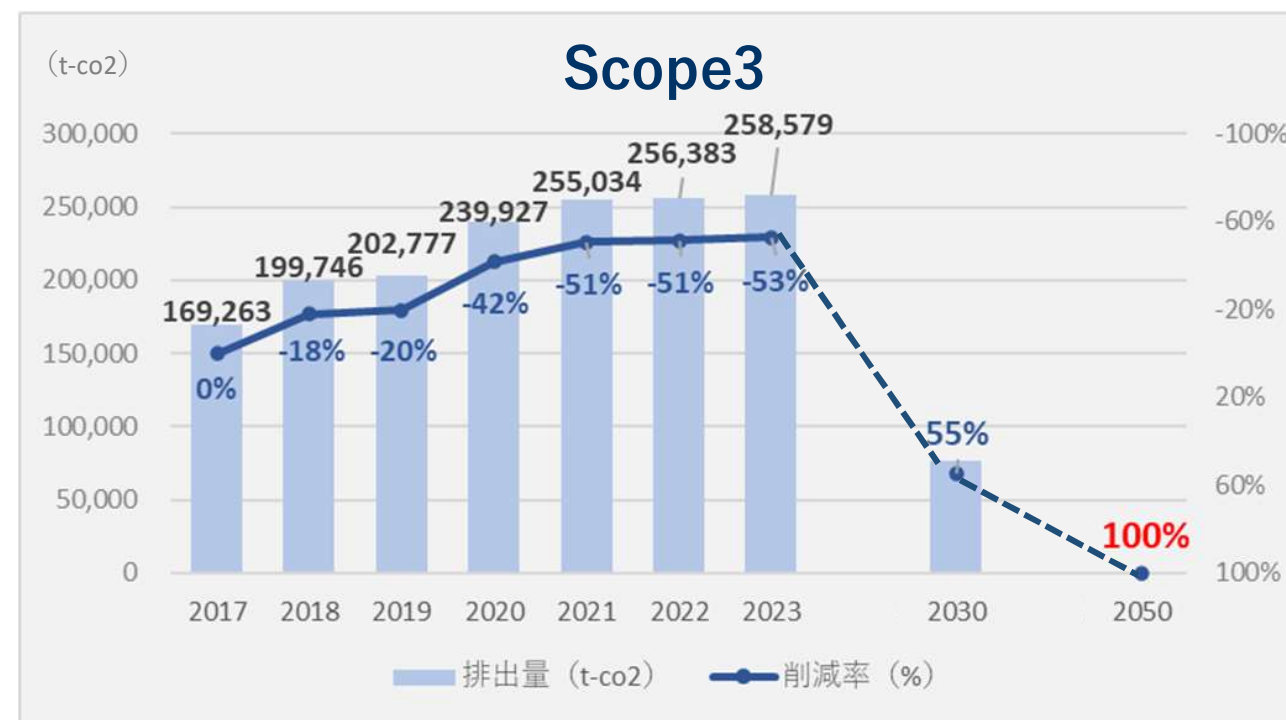
2030年までに55%削減 2050年までに100%削減 ※2017年度比



(*)Scope1…事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

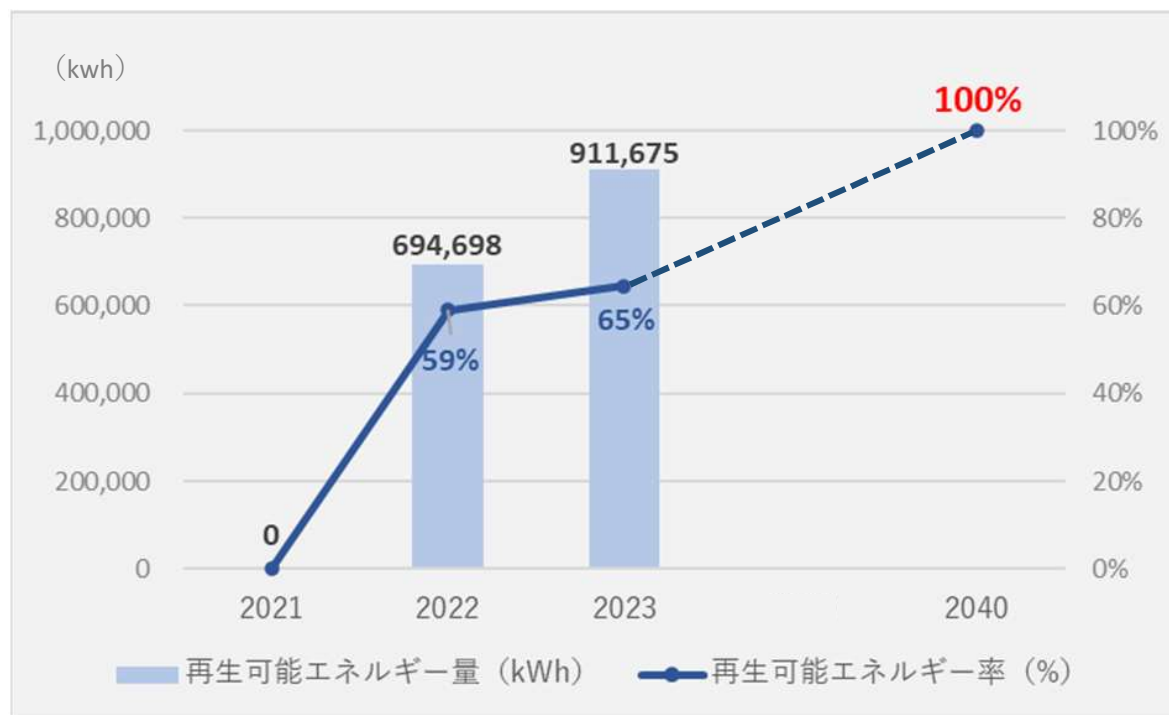
Scope2…他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3…Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）



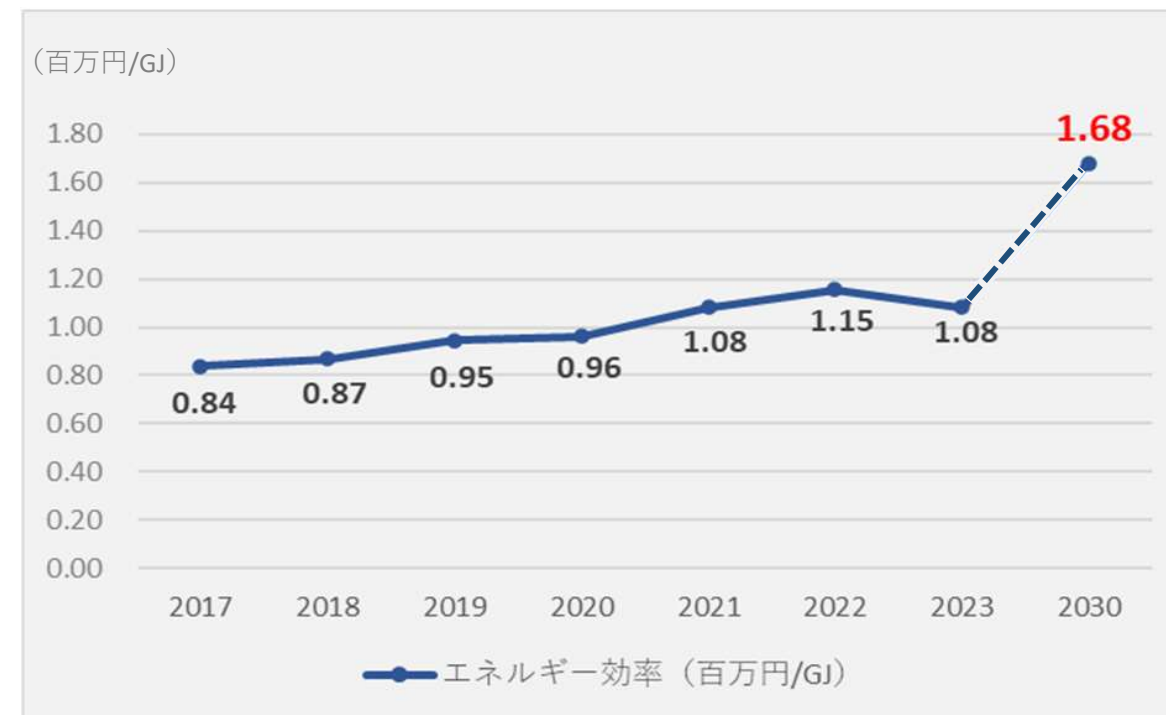
■ 再生可能エネルギー導入

2030年までに60%導入 2040年までに100%導入



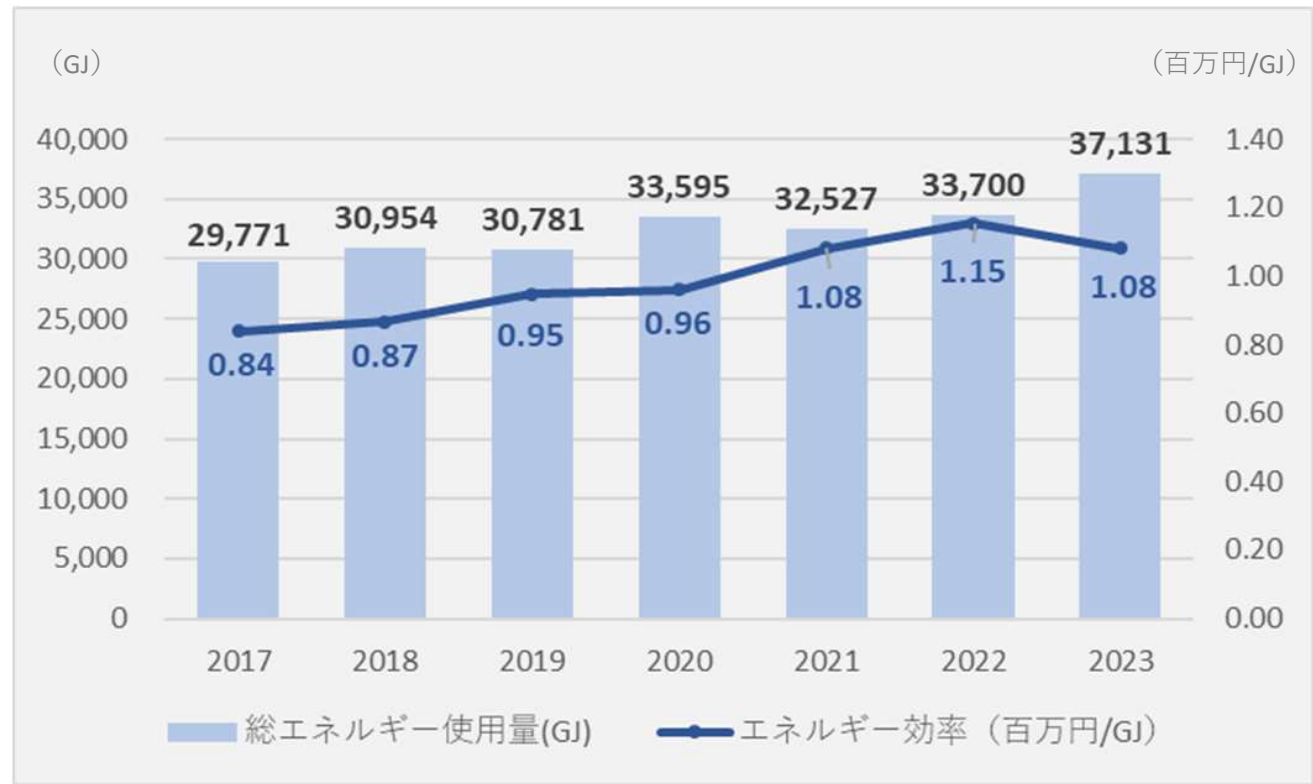
■ エネルギー効率

2030年までに2倍 ※2017年度比

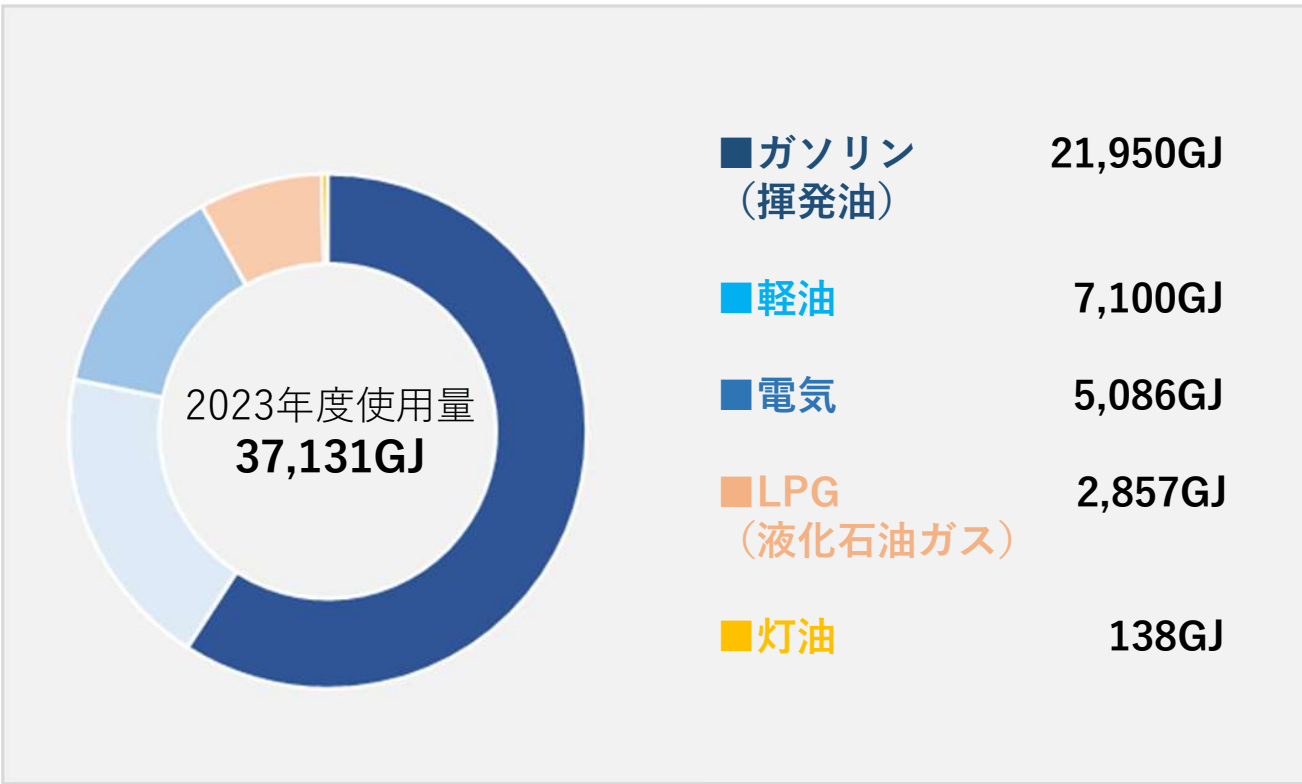


事業活動における環境負荷（2023年度）

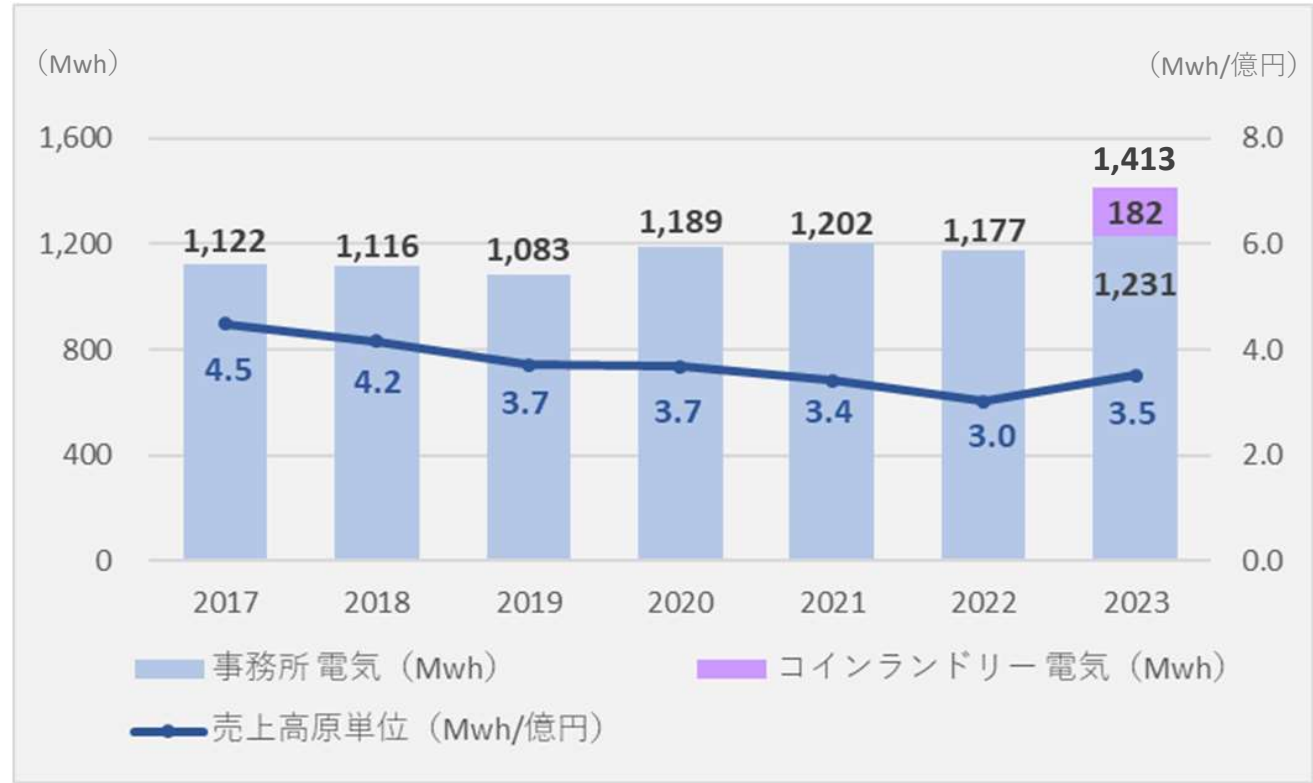
■ 総エネルギー投入量／エネルギー効率



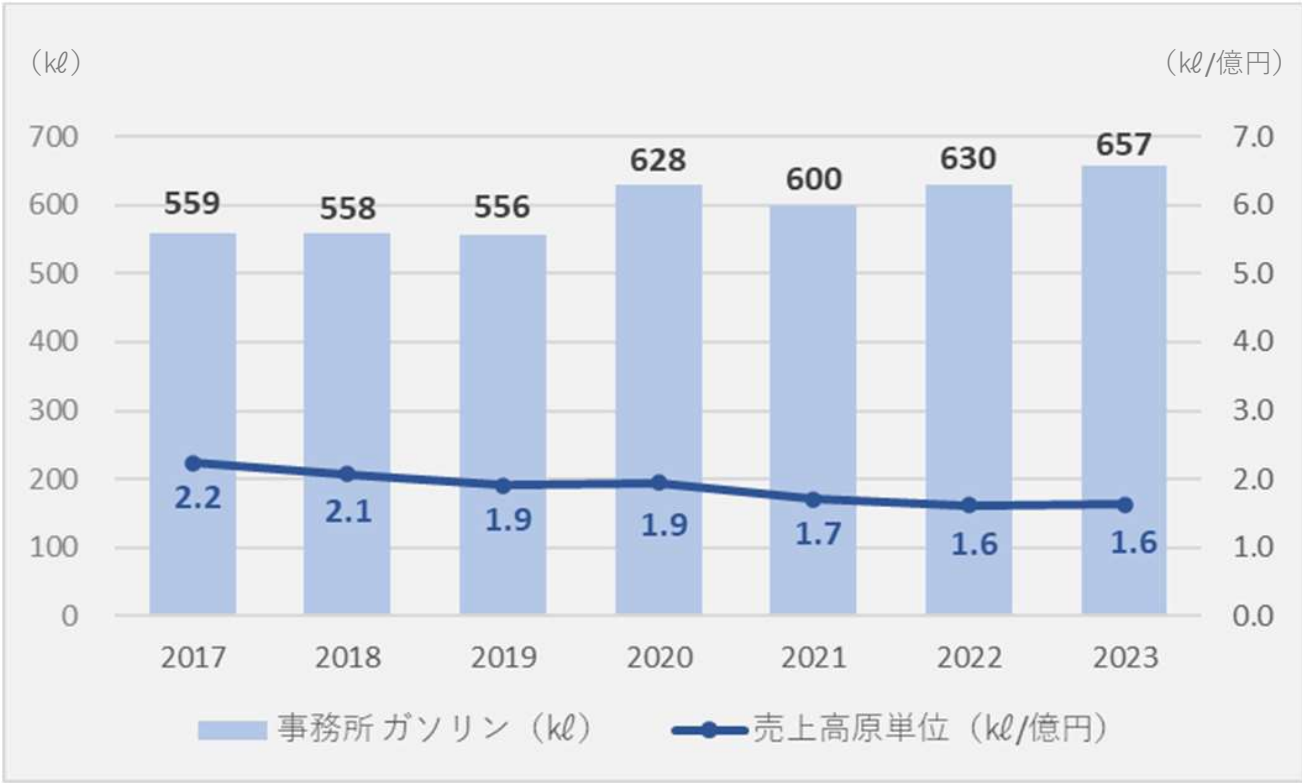
■ 総エネルギー投入量内訳



■ 電気使用量 ※2023年度からコインランドリー事業での使用量を開示

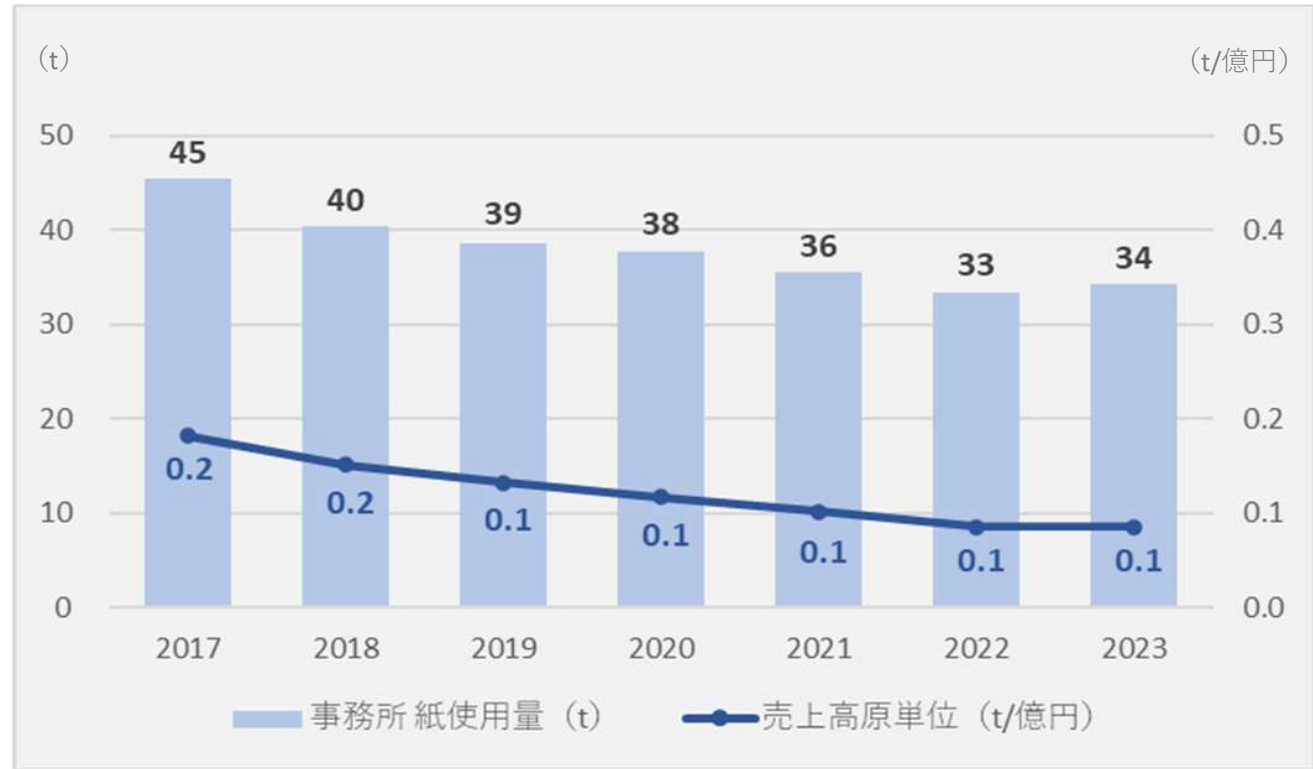


■ ガソリン使用量



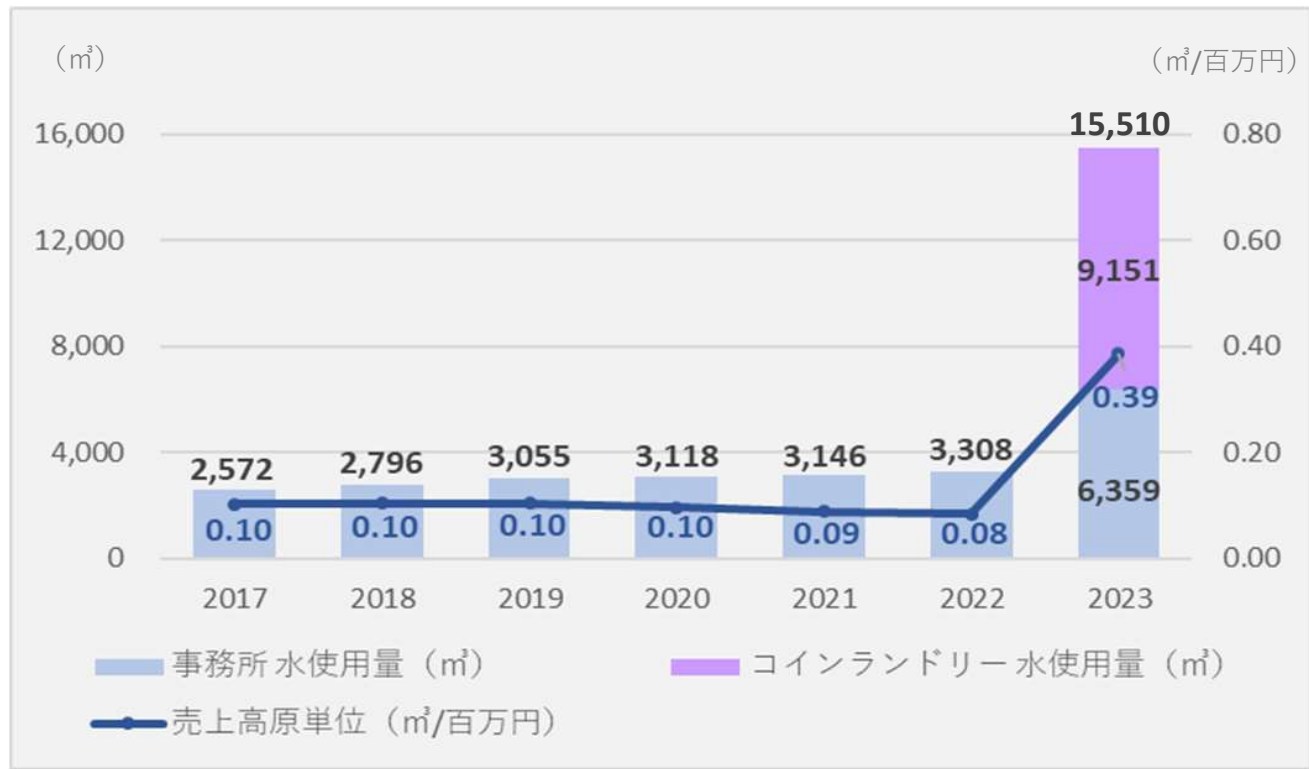
事業活動における環境負荷（2023年度）

■ コピー用紙使用量

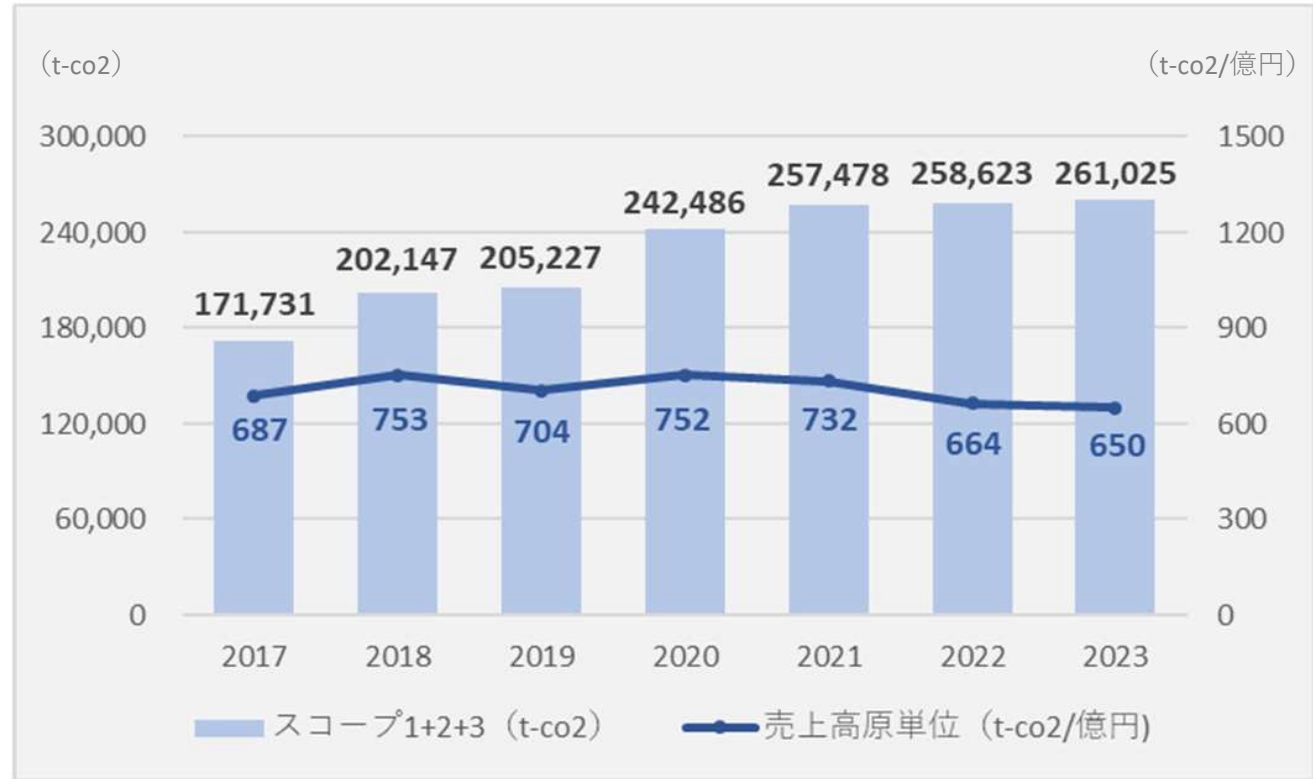


■ 水使用量

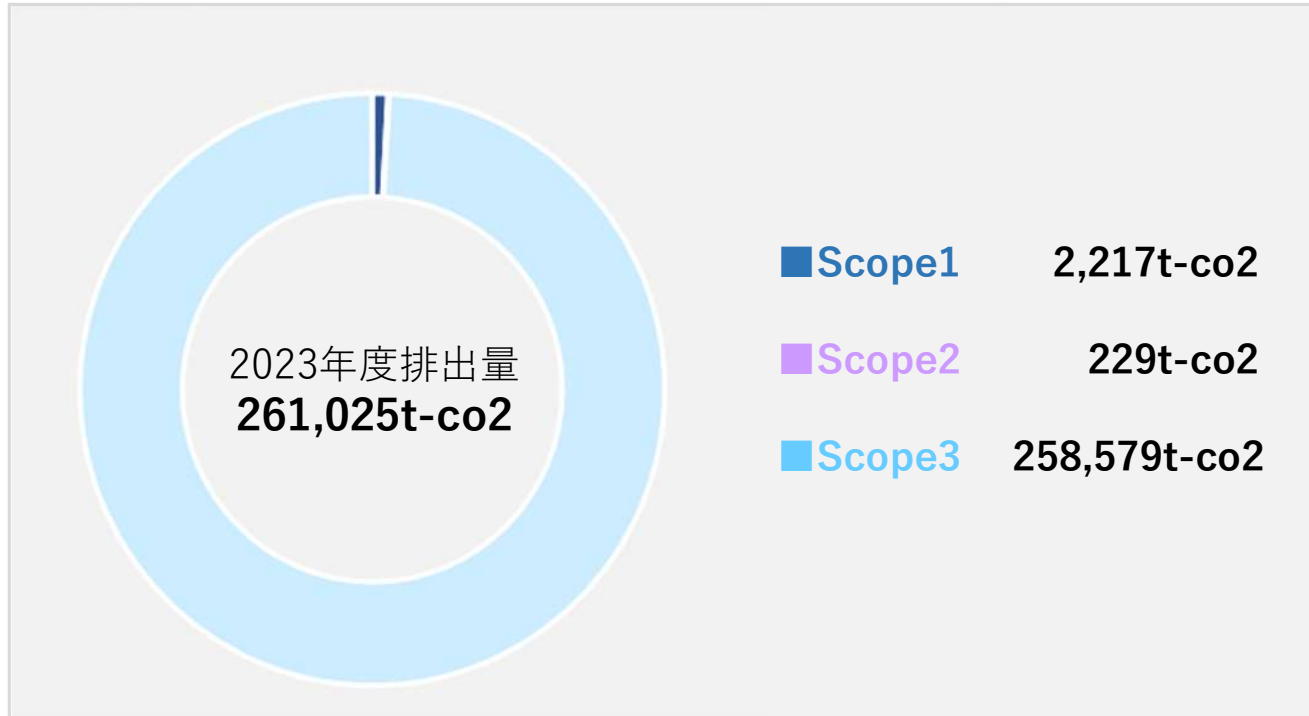
※2023年度からコインランドリー事業での使用量を開示



■ 温室効果ガス排出量【Scope1+2+3 (*)】



■ 温室効果ガス排出量内訳【Scope1+2+3 (*)】



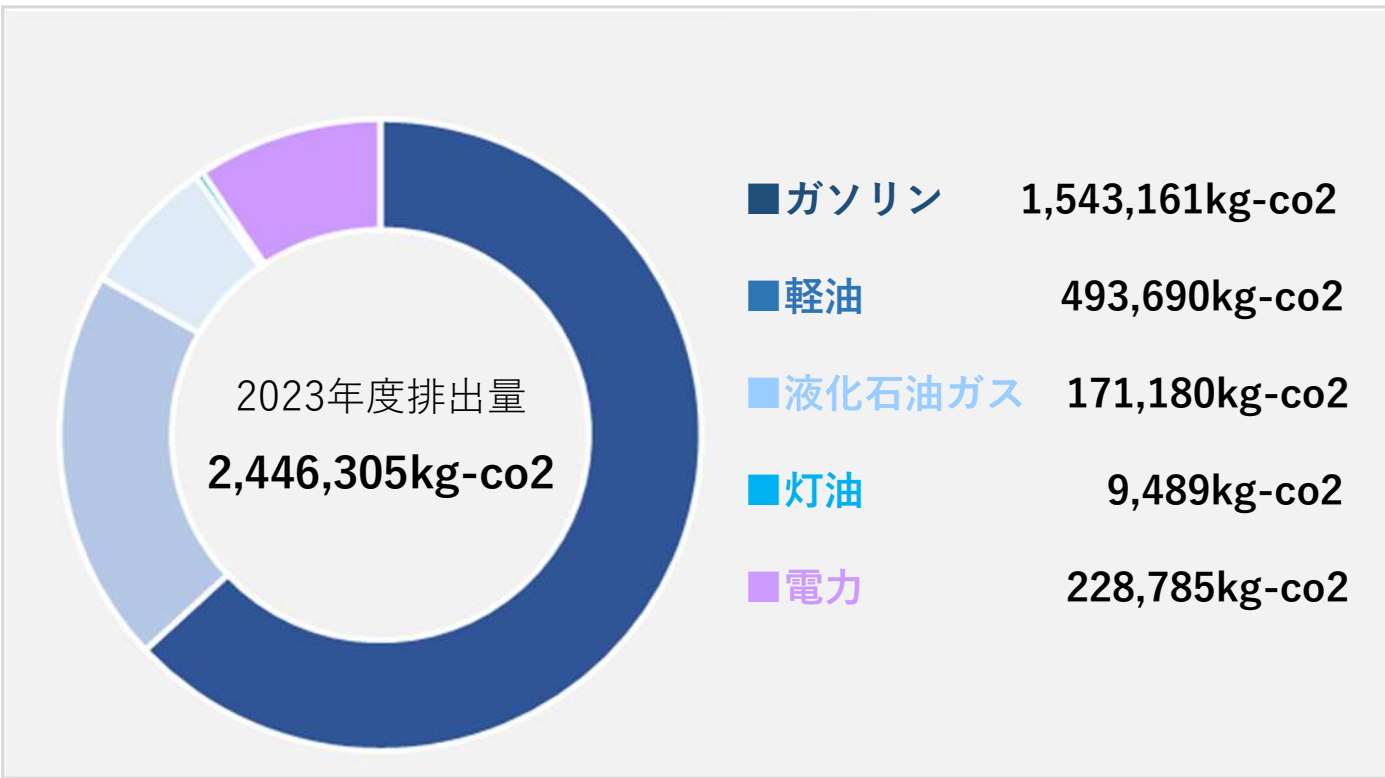
(*)Scope1…事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2…他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3…Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）

事業活動における環境負荷（2023年度）

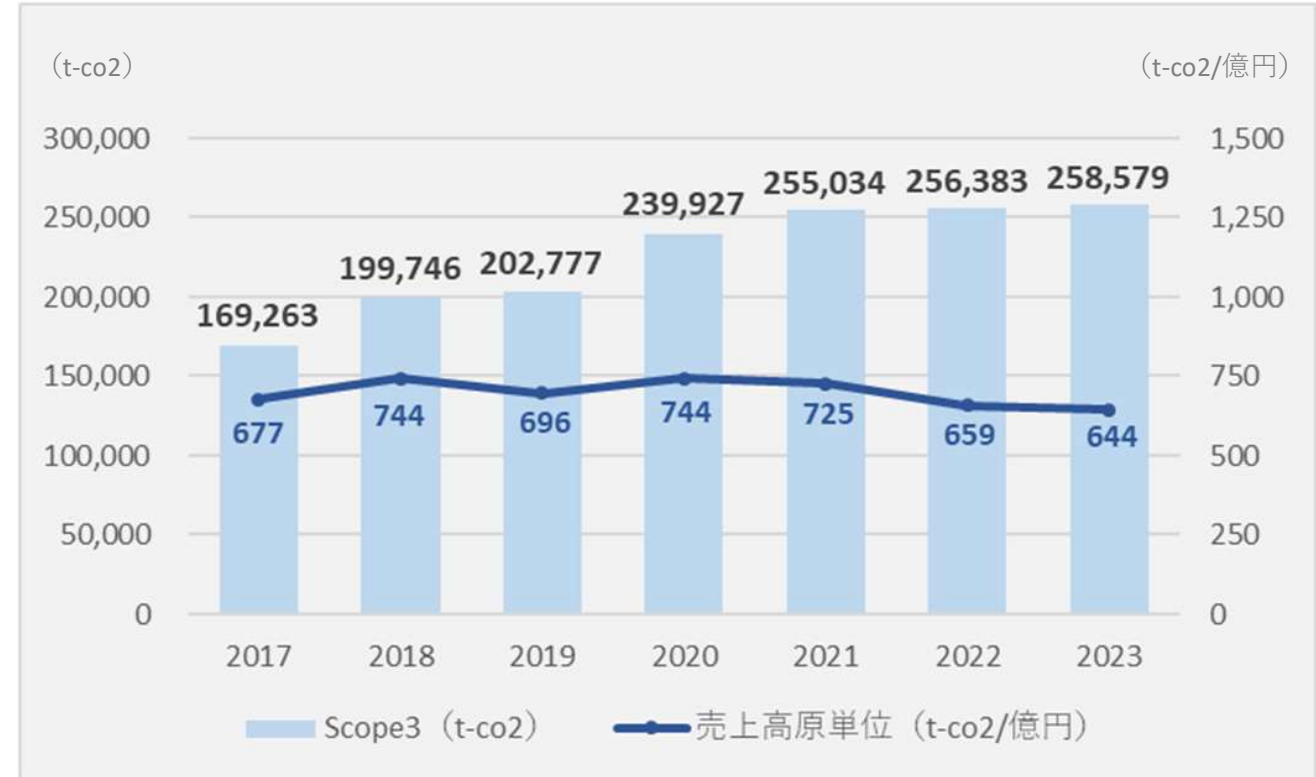
■ 温室効果ガス排出量【Scope1+2】



■ エネルギー種別 温室効果ガス排出量【Scope1+2】



■ 温室効果ガス排出量【Scope3】



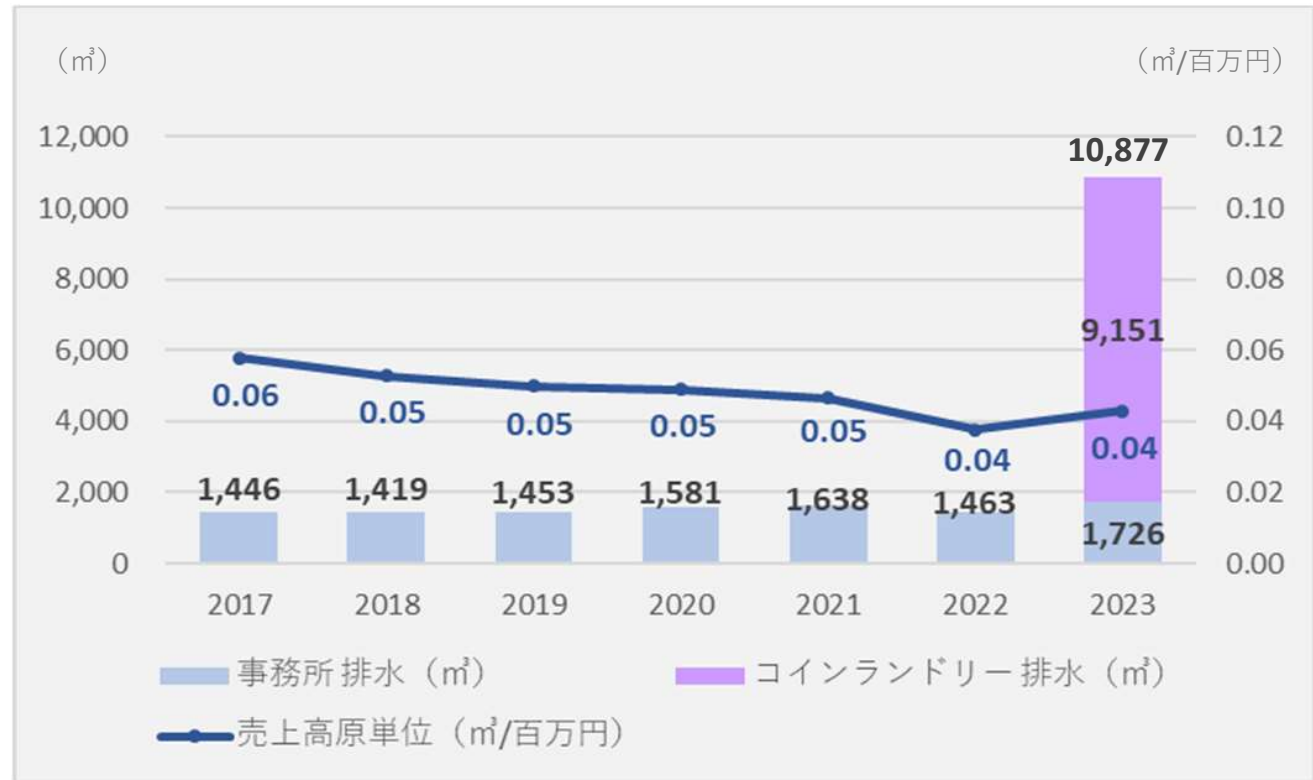
■ カテゴリー別 温室効果ガス排出量【Scope3】

Scope3 カテゴリー	温室効果ガス排出量
11：販売した製品の使用	239,947,941kg-co2
1：購入した製品・サービス	16,749,227kg-co2
4：輸送配送（上流）	1,400,739kg-co2
6：出張	199,774kg-co2
5：事業から出る廃棄物	146,927kg-co2
7：雇用者の通勤	99,950kg-co2
3：Scope1,2に含まれない燃料	34,192kg-co2
Scope3 合計	258,578,750kg-co2

事業活動における環境負荷（2023年度）

排水量

※2023年度からコインランドリー事業での排水量を開示



環境に関する規制の順守状況

	2023年度
環境関連法規に関する違反	0 件
環境関連法規に関する行政指導	0 件
環境関連法規に関する行政処分	0 件
環境関連の訴訟	0 件

2023年度において、環境に関する法令・条例違反による行政処分はありませんでした。

取組み

■ 再生可能エネルギーの利用・開発

2022年度より、事務所での再生可能電力エネルギーの導入を進めています。
また、太陽光発電所を取得し、2019年度より再生可能エネルギー事業へ参入しています。2023年度は約441万kwhのCO2フリー電力を発電しました。

< 当社保有の太陽光発電の概要 >

	①	②	③
名称	大和茨城第二発電所	株式会社ガスパル たつのメガソーラー発電所	宮城県亘理町大東建物管理 太陽光発電設備1/2
所在地	茨城県鉾田市	兵庫県たつの市	宮城県亘理郡亘理町
出力	1,990kw	1,700kw	97.4kw (48.7kw×2)
事業開始	2019年10月	2022年8月	2019年4月



■ ガス充てん業務の効率化

LPガスを継続してご利用いただくため、バルク貯槽への充てんを実施しています。
当社ではガス充てん予測システムを使用し、効率的に充てん作業を行うことで、
環境負荷低減に取り組んでいます。

また、LPガスのバルク貯槽は製造後20年以内に検査をするため、一度撤去します。
当社では貯槽撤去時に内部に残ったガスを廃棄していますが、充てん量を調整し、
貯槽内に残るガスを減らす取組みをしています。

2023年度は、CO2換算で約23t(*)の残留ガスを削減しました。

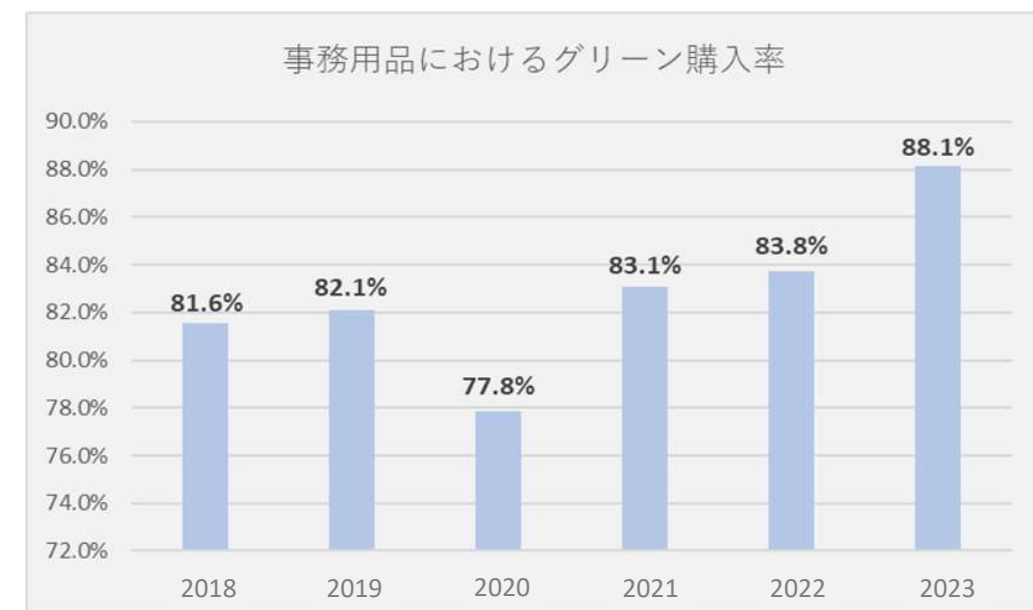
(*)バルク貯槽容量の50%を基準にした残留ガス削減量



取組み

■ グリーン購入

事業活動が環境に与える影響に配慮し、環境負荷の低減を図るため、事務用品などの購入にあたって、地球環境に配慮した物品を優先的に調達しています。



■ ガスパルの森

創立20周年事業の一環で、Present Tree（認定NPO法人 環境リレーションズ研究所）を通じ、山梨県笛吹市へ400本分の植樹費用を寄付しました。

2023年度には植樹イベントを開催し、「ガスパルの森」が誕生しました。

地球由来のエネルギーを扱う企業であるからこそ、地球環境への恩返しとして水源を守り、持続可能な社会へつなげていきます。



■ ecoウォーク

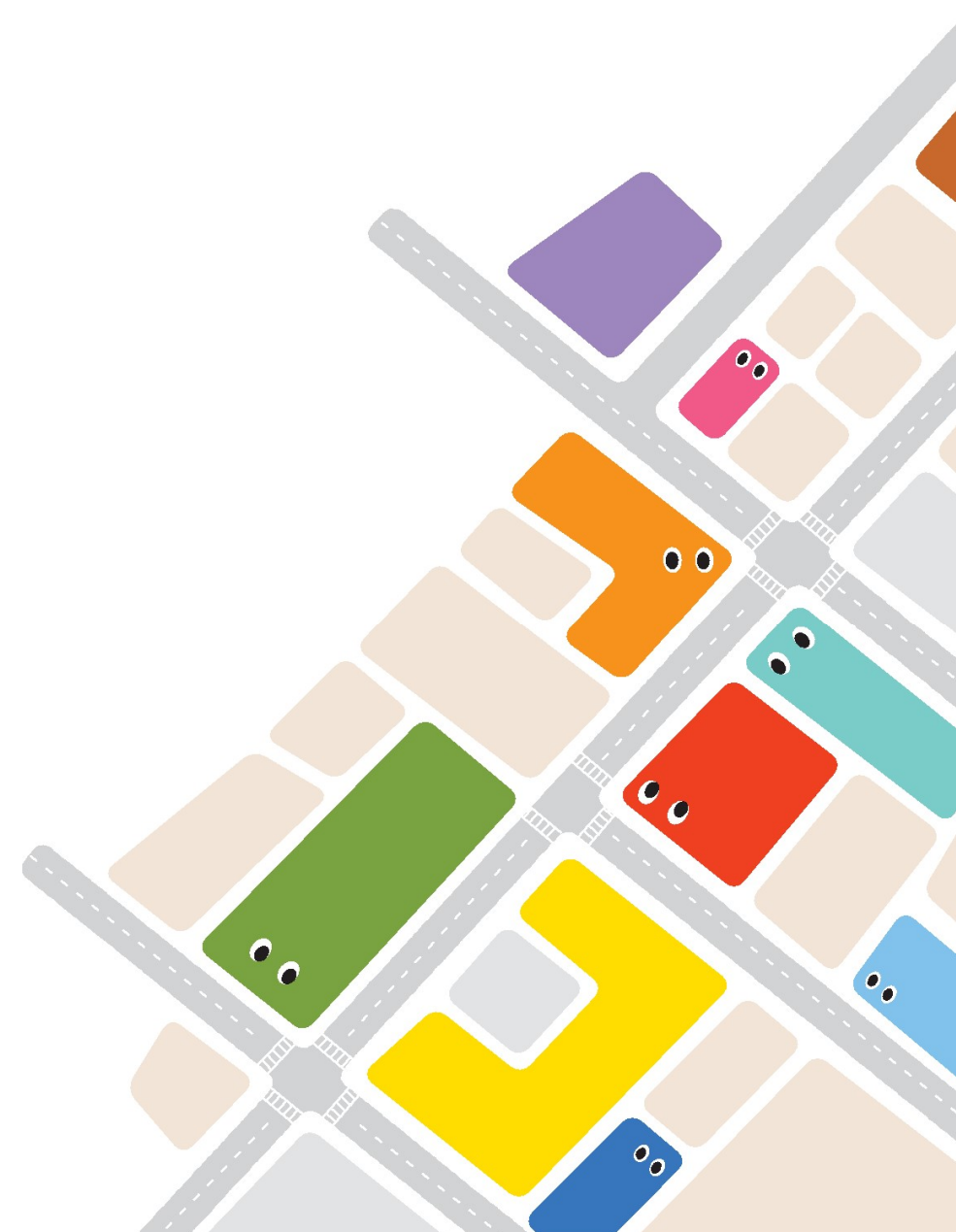
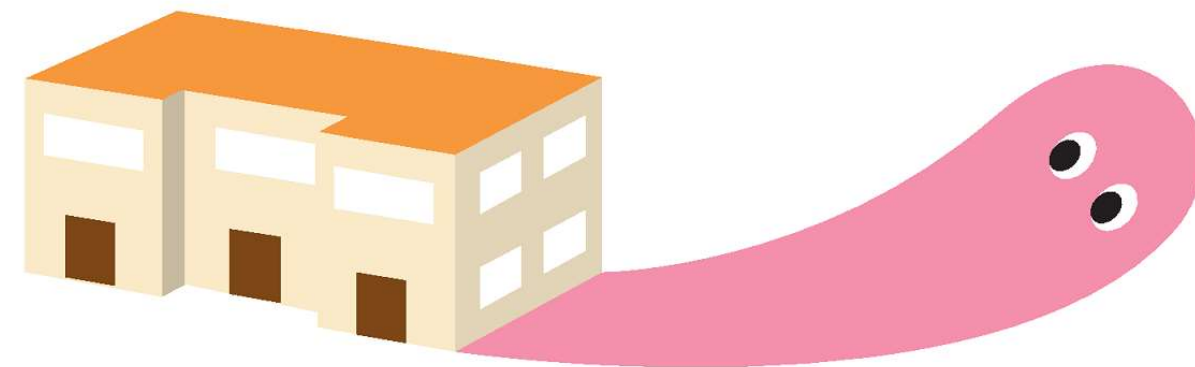
2022年度より、清掃活動とウォーキングを組み合わせた「ecoウォーク」を開催しています。事務所近辺のゴミ拾いを通じて、環境への意識向上に取り組んでいます。

<2023年度>

参加者980名 総歩行距離3,759.68km（平均3.83km/人）



ワクを超えると、
セカイは広がる。



【本報告書について】
本報告書は、当社の環境活動をまとめたものです。
対象期間：2023年4月～2024年3月
発行：2024年11月